



講演会の様子



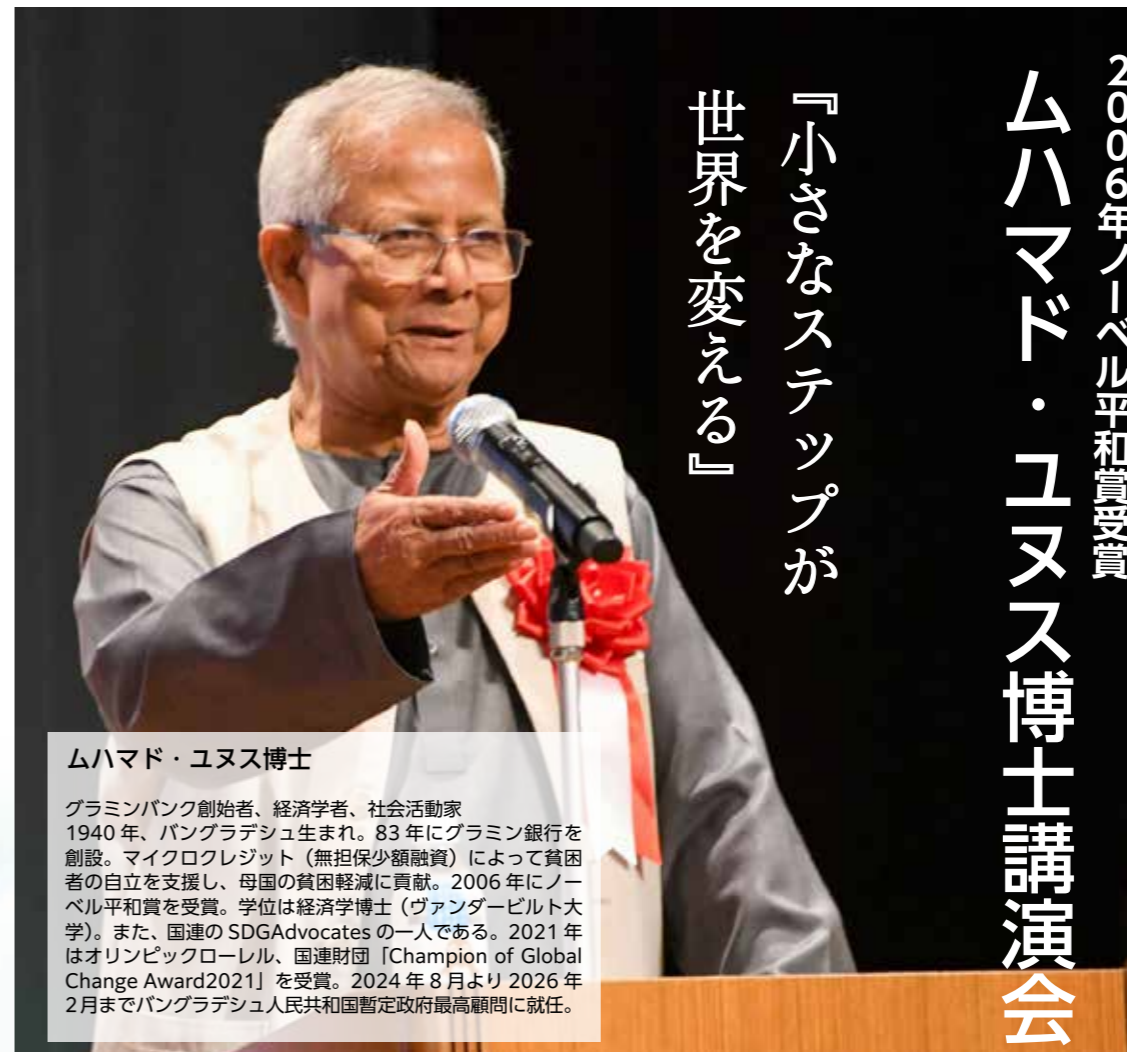
ユヌス博士と講演会登壇者・関係者での記念撮影



境町に住んでいるバングラデシュの方たちとの記念撮影



講演会参加者での「スリーゼロ」ポーズで記念撮影する様子



ムハマド・ユヌス博士

グラミンバンク創始者、経済学者、社会活動家
1940年、バングラデシュ生まれ。83年にグラミン銀行を創設。マイクロクレジット（無担保少額融資）によって貧困者の自立を支援し、母国の貧困軽減に貢献。2006年にノーベル平和賞を受賞。学位は経済学博士（ヴァンダービルト大学）。また、国連のSDG Advocatesの一人である。2021年はオリンピックローレル、国連財団「Champion of Global Change Award 2021」を受賞。2024年8月より2026年2月までバングラデシュ人民共和国暫定政府最高顧問に就任。

講演されるノーベル平和賞受賞者のムハマド・ユヌス博士



合併70周年記念イベント開催

ノーベル平和賞受賞者のムハマド・ユヌス博士による記念講演会に500名を超える参加者が集う

境町合併70周年を記念し、3月27日（金）に境町中央公民館で、記念講演会を開催しました。

当日は、2006年ノーベル平和賞受賞者であるムハマド・ユヌス博士による講演会を実施し、自国の貧困者の自立に目を向け、無担保の少額融資（マイクロクレジット）を始め1983年にグラミン銀行を設立したこと、小さな村から始めた少額融資が世界を変えるきっかけとなったこと等のお話をいただきました。

ユヌス博士は講演の中で、「すべての人には創造性がある。人はみな、一人ひとりが起業家であるべきだ。当時は女性が生きづらい時代で、最初はポケットに入る程度の少額の融資だったが、少額融資が世界に広まった。小さなステップが世界を変えた。始まりは

小さくていい。みんなが「自分事」として考えるようになれば、取り組みはどんどん伝染し、世界は変わる」と述べました。当日は500名を超える多くの方が来場し、ユヌス博士の講演に熱心に耳を傾けていました。

講演会終了後には、境小学校校庭にて、ユヌス博士、関係者、境小の児童とともに、友好と平和への願いを込めて「陽光桜」の記念植樹を行いました。この桜は今後、町のシンボルの一つとして成長していくことが期待されます。植樹後にはユヌス博士がめざす「貧困ゼロ」「失業ゼロ」「CO排出ゼロ」の「スリーゼロ」のハンドサインで境小の児童と記念撮影を行いました。

ユヌス博士たちは、自動運転バスや、アーバンスポーツパークなどの町内施設等の視察や、町内各種団体代表者の皆さんと懇談を通して交流を深め、今後の地域発展に向けた大きな一歩となりました。
今後とも境町は、持続可能で魅力あるまちづくりを推進してまいります。



境小児童と「スリーゼロ」のハンドサインでユヌス博士と橋本町長と記念撮影



境小に植樹された陽光桜



あお学園保育園での記念植樹の様子



自動運転バスを視察するユヌス博士



片山さつき財務大臣から、お祝いのビデオメッセージが披露されました。



挨拶を述べる半村茨城県議会議員



挨拶を述べる倉持議会議長



境町合併70周年記念講演会で挨拶を述べる橋本町長